

災害時要援護者 避難支援の取組

町では、自分では避難できず、また、家族の助けも受けられない人のために、どのようにしたら避難できるかを記入した計画「個別計画」づくりを町内会・自主防災組織・民生委員などの地域の人手とともに進めています。

7月～8月に開催した個別計画説明会では、日ごろから地域住民とコミュニケーションを図る取組事例や、高齢者や障害者などの災害時要援護者と一緒に防災訓練をした様子などの地域の活動を発表していただきました。

〈発表者〉

13地区自主防災会

会長 高橋 和夫

是友奥名地区自主防災会

隊長 樋口 義博

柳瀬上分自主防災会

会長 西岡 武司

鹿敷地区自主防災会

会長 友草 康雄

波川公民館

館長 畑山 博行

西浦6区自主防災会

会長 鍋島 義安



発表の様子（樋口 義博さん）



発表の様子（高橋 和夫さん）

町が説明会で使用した災害時要援護者支援「実施の手引き」は、町ホームページに掲載していますのでご覧ください。

<http://www.town.inokochi.jp/>

■問い合わせ

ほけん福祉課

（すこやかセンター伊野内）

☎ 893-3810

傾聴ボランティア 養成講座を開催

7月17日、あったかふれあいセンターでは、22名が参加して傾聴ボランティア養成講座を開催しました。

午前の部は、山本典判氏（高知とんぼの会会長）より「傾聴を学ぶ お話の良い聴き方」と題し講義があり、午後の部は、山本美知子氏（同会）の指導で、ロールプレイング（役割演技法）による対話訓練、傾聴体験談やボランティア団体の紹介などの内容で開催しました。

また、高知市の傾聴ボランティア団体「高知とんぼの会」の皆さん、いの町傾聴ボランティア「スマイル」の皆さんにも参加いただき、受講者との交流も深めました。

参加者からは、「傾聴は、家族や友人との会話、接客の仕事でも非常に大切なこと、受講してよかった」「傾聴的な会話がすぐにできるか分からないが、これからの生活や活動に役立てたい」などの感想が聞かれました。

今回の受講者の中から3名が、いの町傾聴ボランティア

「スマイル」へ入会し、今後の活動につながっています。

■問い合わせ

あったかふれあいセンター
（すこやかセンター伊野内）

☎ 893-5920



傾聴実習 ロールプレイング



「傾聴の講義」の様子

ねりんピックよさこい 高知2013 100日前イベントを開催

7月18日、高知市中央公園で、ねりんピック100日前イベントが開催されました。

イベントはねりんピックよさこい高知2013実行委員会の主催で開催され、総会開会式への出演団体の演技などがステージで披露されるとともに、町も、大会会場と開催競技種目の啓発用に作成したうちわを配布するなどのPRをしました。

また、いの町老人クラブも紙漉き体験や紙のこいのぼりづくりコーナーを出店し、イベントを盛り上げました。

